

(一社) 日本塑性加工学会 接合・複合分科会第 102 回研究会のご案内

開催日時：2021 年 9 月 21 日 (火) 13:00～15:05

会場： Zoom 会議室 (ホスト：玉川大学 川森 重弘)

URL: <https://zoom.us/j/93596099304?pwd=WnRiYjUraFZiR2hyNWJQbGRWaHIKUT09>

ミーティング ID: 935 9609 9304

パスコード: 909679

参加資格：(一社) 日本塑性加工学会 接合・複合分科会会員およびその関係者

趣旨：1990 年に本分科会で発足した「文献調査研究班」のご活動も 30 年以上になります。今回の研究会では、「文献調査研究班」にご企画いただき、文献調査からみた接合・複合に関する最近の研究動向を中心にご報告いただき、さらに研究班メンバーの最近の研究内容もご紹介いただくことになりました。
新型コロナウイルス感染拡大も収まらず、対面での開催はまだまだ難しい状況であります。したがって、今回も Zoom による研究会といたく存じます。また参加者は、会員およびその関係者のみとさせていただきます。
奮ってご参加の程よろしくお願い申し上げます。

プログラム：

13:00～13:05 開会の辞 接合・複合分科会主査 川森重弘君

13:05～15:05 第 102 回研究会

(1)13:05～13:45 「2020 年第 71 回塑性加工連合講演会等にみられる接合・複合」

講師 東京都立産業技術高等専門学校 長谷川 収君

第 71 回塑加連の接合のセッションを中心に、最近の接合・複合に関する研究の動向を概観する。被加工材の塑性変形を利用したメカニカルクリンチ、セルフピアシングリベットに関するもの、電磁力を用いたかしめ、板の穴抜きと同時にナットを接合する方法、ショットピーニングを利用した方法のほか、CFRP の特徴を活かしたものなど種々の異種材接合法、解体性を意識した樹脂部品の設計などが試みられた。

(2)13:45～14:25 「最近の国際会議にみられる接合・複合」

講師 豊橋技術科学大学 安部 洋平君

2015 年から本年の日本塑性加工学会論文誌「塑性と加工」と会報誌「ぶらすとす」の年間展望接合・複合に掲載された国際会議における接合・複合の研究についての動向を示す。国際会議、春季講演会、連合講演会における接合・複合の研究発表件数の比較の他、3D プリンティング、機械的な接合、摩擦攪拌接合などの接合・複合に関する研究について紹介する。

(3)14:25～15:05 「最近の日本塑性加工学会の論文誌と会報誌にみられる接合・複合」

講師 兵庫県立大学 原田 泰典君

日本塑性加工学会の論文誌「塑性と加工」と会報誌「ぶらすとす」における最近の接合・複合に関する研究の動向を概観する。アルミニウム材料や鉄鋼材料の同種および異種の組み合わせのほか、金属とプラスチックの組み合わせによって接合・複合が試みられている。溶接、かしめ、電磁力、爆薬、超音波およびレーザーを利用した接合・複合に関する研究について紹介する。

参加費：接合・複合分科会会員およびその関係者:無料

◎ご出席の連絡方法

準備の都合のため、**9月16日(木)までに、川森 (kawamori@eng.tamagawa.ac.jp)** へ、下記の項目を明記のうえ、出欠をご連絡ください。(申込みはE-mailにてお願い致します).

(1) 分科会出欠、(2)氏名(代理の方はその氏名)、(3)勤務先(部課名)、(4)連絡先(住所、TEL、E-mail)

●事務局連絡先：玉川大学工学部エンジニアリングデザイン学科 川森重弘

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 TEL & FAX 042-739-8352

E-mail : kawamori@eng.tamagawa.ac.jp